

## 三嶺の森をシカから守ろう

緑を守り増やす取り組みを



五月二三日（日）、香美市の三嶺山系の国有林で、ボランティアによる植生の保全と再生活動が行われました。  
みやびの丘では、シカの侵入による食害を防ぐためのシカ防護ネットの設置とシカの食害により裸地化した場所に、表土流出を防ぐマットを設置しています。  
この取り組みは、「三嶺の森をまもるみんなの会」と高知中部森林管理署が連携して開催した活動で、およそ七〇名のボランティア等が参加しました。  
この活動は、平成一九年から始め、現在は植生の回復が見られています。  
参加された皆様、お疲れ様でした。

## 庁内に設置した樹木名板の中から二種類の紹介 アセビ

マバリー・APG等分類体系による ツツジ 科 アセビ 属  
エングラー分類体系による ツツジ 科 アセビ 属  
*Pieris japonica*  
漢字名 馬酔木 別名 アセボ 常緑低木～小高木  
有毒植物



## サツキ

マバリー・APG等分類体系による ツツジ 科 ツツジ 属  
エングラー分類体系による ツツジ 科 ツツジ 属  
*Rhododendron indicum*  
漢字名 躑躅 別名 サツキツツジ 常緑低木



## 目撃情報がありましたら教えてください。



森林総研四国支所からヨタカとコノハズクについて問い合わせがありました。

ヨタカの特徴 頭が大きい横長の体型をした鳥。オスには翼の先と尾に白斑があります。細長い翼をゆっくりはばたき、速く飛行しています。尾も長め。「キョッキョッキョッキョッキョッキョッキョッキョ…」と早口で続ける大きな高い声で鳴きます。主に夜行性で飛翔しながら、がま口のような大きな口を開けて飛行中の昆虫を捕らえ、餌にしています。

コノハズクの特徴 日本で一番小さいフクロウの仲間で「ブッカッコー」とか「ブッポウソウ」と鳴きます。木の葉のように小さいミミズクの意でコノハズクです。（公財）日本鳥類保護連盟より

鳴き声や生息地について心当たりがある方は、技術普及課にご連絡下さい。写真は日本の野鳥識別図鑑より



ヨタカ



コノハズク

## 編集後記

令和2年度の緑の募金の集計が完了しました。  
コロナ禍で例年より少なかったものの、高知県全体で  
9,201,159円集まりました。  
ご協力ありがとうございました。